

令和5年度 埼玉県学力・学習状況調査結果分析【行田市】

調査の目的

児童生徒の学力や学習に関する事項等を把握することで、教育施策や指導の工夫改善を図り、児童生徒一人一人の学力を着実に伸ばす教育を推進する。

児童生徒たちが現在の実力を知り、「どれだけ自分が伸びたか」を実感するとともに、自分をさらに伸ばし、自分のよさを活かしていけるような教育を進めるために、「学力の伸び」を測ることができる「教科に関する調査」、学習に対する意欲や学習方法、さらに家庭での生活習慣等に関する「質問調査」のほかに、各教育委員会や各学校の取組についての「質問調査」を実施する。

調査概要

【調査日時】 令和5年5月10日（水）

【調査事項】 ①児童生徒：教科調査〔国語、算数・数学、英語（中学校第2・3学年）〕、質問紙調査
②学校：質問紙調査

【調査対象】 小学校第4学年・～中学校第3学年

教科に関する調査結果

【正答率一覧】 上段：行田市 中段：（埼玉県） 下段：＜比較＞ 矢印： 学力の伸び

[]：昨年度と比較し、県と差が縮まっているもの 網掛け：県平均を上回っているもの

		R 2		R 3		R 4		R 5
国語	小4	64.6 (64.3) ＜+0.3＞		56.1 (58.0) ＜-1.9＞		59.7 (62.1) ＜-2.4＞		63.1 (63.6) ＜-0.5＞
	小5	61.5 (62.1) ＜-0.6＞	-2.6	54.4 (56.7) ＜-2.3＞	-0.1	54.2 (56.2) ＜-2.0＞	+0.3	60.6 (62.7) 〔＜-2.1＞〕
	小6	58.1 (58.8) ＜-0.7＞	-1.0	57.0 (58.6) ＜-1.6＞	+0.7	62.2 (63.8) 〔＜-1.6＞〕	-0.6	58.2 (60.8) ＜-2.6＞
	中1	59.2 (61.1) ＜-1.9＞	-1.2	59.4 (61.3) ＜-1.9＞	-0.5	56.7 (58.8) ＜-2.1＞	+1.3	63.5 (63.8) 〔＜-0.3＞〕
	中2	63.4 (63.8) ＜-0.4＞	+0.6	61.8 (63.1) 〔＜-1.3＞〕	+0.5	55.7 (57.1) 〔＜-1.4＞〕	+0.3	58.4 (60.2) 〔＜-1.8＞〕
	中3	69.5 (72.7) ＜-3.2＞	-0.6	67.1 (68.1) ＜-1.0＞	-0.8	54.2 (56.3) ＜-2.1＞	+0.3	54.4 (55.5) 〔＜-1.1＞〕

		R 2		R 3		R 4		R 5
算数・数学	小 4	63.5 (64.2) <-0.7>		68.1 (69.9) <-1.8>		61.3 (63.0) <-1.7>		<u>64.6</u> (63.9) <0.7>
	小 5	60.9 (61.7) <-0.8>	-3.0	57.9 (61.6) <-3.7>	+0.8	62.0 (63.0) <-1.0>	-0.3	61.0 (63.0) <-2.0>
	小 6	58.6 (59.0) <-0.4>	±0	60.1 (60.9) <-0.8>	+3.3	59.4 (59.8) <-0.4>	+0.2	55.7 (56.5) <-0.8>
	中 1	58.8 (60.2) <-1.4>	-0.5	58.5 (59.4) <-0.9>	-0.5	56.4 (57.7) <-1.3>	+2.3	<u>58.3</u> (56.4) <+1.9>
	中 2	55.8 (58.6) <-2.8>	+0.8	58.5 (59.1) <-0.6>	-3.0	48.8 (52.7) <-3.9>	-1.2	56.5 (59.0) <-2.5>
	中 3	53.1 (57.7) <-4.6>	+0.8	56.1 (58.1) <-2.0>	-1.9	54.6 (57.1) <-2.5>	+0.8	57.7 (60.8) <-3.1>
英語	中 2	54.5 (57.3) <-2.8>		61.2 (62.6) <-1.4>		56.2 (59.0) <-2.8>		50.6 (53.3) <-2.7>
	中 3	50.0 (55.7) <-5.7>	-2.4	54.8 (60.0) <-5.2>	-1.9	52.6 (55.9) <-3.3>	-1.2	46.4 (50.4) <-4.0>

○11教科中7教科で学力の伸びが見られた。

○小学校第6学年での学力の伸びが大きい。

○正答率では小学校第4学年の算数、中学校第1学年の数学において埼玉県 averages を上回っている。

▲正答率において埼玉県の平均を下回っている教科が多い。

▲中学校第1学年の数学における学力の伸びが課題である。

▲英語の学力に課題が見られる。

質問紙に関する調査結果

○肯定的回答 ※抜粋

【小4】

質問番号	質問事項									
(21)	今住んでいる県や市町村の歴史や自然に関心をもっていますか									
選択肢	1. もっている 2. どちらかといえば、もっている 3. どちらかといえば、もっていない 4. もっていない									
	1	2	3	4	5	6	7	8	不明	無回答
埼玉県	42.5	33.7	14.2	6.6					0.3	2.8
貴教育委員会	45.0	32.9	14.8	6.2					0.5	0.5

【小5】

選択肢	1. もっている 2. どちらかといえば、もっている 3. どちらかといえば、もっていない 4. もっていない									
	1	2	3	4	5	6	7	8	不明	無回答
埼玉県	35.3	33.7	18.7	10.6					0.1	1.7
貴教育委員会	37.8	33.6	18.3	10.1					0.2	0.0

【小6】

選択肢	1. もっている 2. どちらかといえば、もっている 3. どちらかといえば、もっていない 4. もっていない									
	1	2	3	4	5	6	7	8	不明	無回答
埼玉県	30.3	34.6	20.8	13.3					0.1	0.9
貴教育委員会	35.4	35.7	17.3	11.5					0.2	0.0

【中1】

選択肢	1. もっている 2. どちらかといえば、もっている 3. どちらかといえば、もっていない 4. もっていない									
	1	2	3	4	5	6	7	8	不明	無回答
埼玉県	22.5	34.4	25.5	16.6					0.0	1.0
貴教育委員会	32.6	40.0	15.5	11.7					0.0	0.2

【中2】

選択肢	1. もっている 2. どちらかといえば、もっている 3. どちらかといえば、もっていない 4. もっていない									
	1	2	3	4	5	6	7	8	不明	無回答
埼玉県	16.6	30.8	28.3	23.3					0.0	0.9
貴教育委員会	24.7	32.7	25.9	16.7					0.0	0.0

【中3】

選択肢	1. もっている 2. どちらかといえば、もっている 3. どちらかといえば、もっていない 4. もっていない									
	1	2	3	4	5	6	7	8	不明	無回答
埼玉県	12.3	27.1	31.3	28.6					0.0	0.7
貴教育委員会	14.2	32.1	30.7	23.0					0.0	0.0

→身近な地域の歴史に対し、高い関心を示していることがわかった。今後も地域の歴史的な遺産の活用や博学連携を推進し、さらなる向上を図っていく。

【小4】

質問番号	質問事項									
(22)	将来の夢や目標をもっていますか									
選択肢	1. もっている 2. どちらかといえば、もっている 3. どちらかといえば、もっていない 4. もっていない									
	1	2	3	4	5	6	7	8	不明	無回答
埼玉県	73.5	13.3	5.1	4.6					0.2	3.2
貴教育委員会	77.5	13.0	3.7	4.4					0.5	0.9

【小5】

選択肢	1. もっている 2. どちらかといえば、もっている 3. どちらかといえば、もっていない 4. もっていない									
	1	2	3	4	5	6	7	8	不明	無回答
埼玉県	72.4	14.1	5.5	5.8					0.1	2.1
貴教育委員会	77.5	13.4	4.4	3.6					0.4	0.8

【小6】

選択肢	1. もっている 2. どちらかといえば、もっている 3. どちらかといえば、もっていない 4. もっていない									
	1	2	3	4	5	6	7	8	不明	無回答
埼玉県	64.4	17.5	7.7	9.1					0.1	1.3
貴教育委員会	70.3	15.3	7.3	6.9					0.0	0.2

【中1】

選択肢	1. もっている 2. どちらかといえば、もっている 3. どちらかといえば、もっていない 4. もっていない									
	1	2	3	4	5	6	7	8	不明	無回答
埼玉県	60.2	20.0	8.9	9.6					0.0	1.2
貴教育委員会	67.6	18.8	7.1	6.1					0.0	0.4

【中2】

選択肢	1. もっている 2. どちらかといえば、もっている 3. どちらかといえば、もっていない 4. もっていない									
	1	2	3	4	5	6	7	8	不明	無回答
埼玉県	44.5	25.9	13.9	14.6					0.0	1.1
貴教育委員会	49.8	22.2	15.7	12.4					0.0	0.0

【中3】

選択肢	1. もっている 2. どちらかといえば、もっている 3. どちらかといえば、もっていない 4. もっていない									
	1	2	3	4	5	6	7	8	不明	無回答
埼玉県	40.9	27.2	15.4	15.6					0.0	0.9
貴教育委員会	47.2	26.8	10.9	14.9					0.0	0.2

→将来の夢や目標をもっている児童生徒が多く、将来に向かって主体的に行動していく素地ができていると考えられる。自分らしく生きるキャリア教育や進路指導等の充実をさらに推進していく。

○否定的回答 ※抜粋

【小4】

質問番号	質問事項									
(52)	わからないことなどを質問しやすい雰囲気での授業が行われたこと									
選択肢	1. よくあった 2. ときどきあった 3. どちらともいえない 4. あまりなかった 5. ほとんど、または全くなかった									
	1	2	3	4	5	6	7	8	不明	無回答
埼玉県	42.3	26.4	19.0	6.5	3.6				0.2	2.0
貴教育委員会	38.4	29.6	19.8	6.1	5.7				0.4	0.0

【小5】

選択肢	1. よくあった 2. ときどきあった 3. どちらともいえない 4. あまりなかった 5. ほとんど、または全くなかった									
	1	2	3	4	5	6	7	8	不明	無回答
埼玉県	42.7	28.4	16.0	6.0	3.3				0.2	3.4
貴教育委員会	41.5	30.2	15.7	6.6	4.6				0.5	0.9

【小6】

選択肢	1. よくあった 2. ときどきあった 3. どちらともいえない 4. あまりなかった 5. ほとんど、または全くなかった									
	1	2	3	4	5	6	7	8	不明	無回答
埼玉県	42.7	25.7	18.8	7.2	4.0				0.2	1.5
貴教育委員会	37.5	27.1	23.4	6.6	5.2				0.2	0.0

【中1】

選択肢	1. よくあった 2. ときどきあった 3. どちらともいえない 4. あまりなかった 5. ほとんど、または全くなかった									
	1	2	3	4	5	6	7	8	不明	無回答
埼玉県	44.3	25.1	18.8	7.1	3.1				0.1	1.5
貴教育委員会	45.0	25.9	19.0	7.5	2.3				0.0	0.4

【中2】

選択肢	1. よくあった 2. ときどきあった 3. どちらともいえない 4. あまりなかった 5. ほとんど、または全くなかった									
	1	2	3	4	5	6	7	8	不明	無回答
埼玉県	39.7	24.6	22.3	8.5	3.5				0.1	1.2
貴教育委員会	45.5	25.1	21.4	4.5	3.3				0.2	0.0

【中3】

選択肢	1. よくあった 2. ときどきあった 3. どちらともいえない 4. あまりなかった 5. ほとんど、または全くなかった									
	1	2	3	4	5	6	7	8	不明	無回答
埼玉県	36.8	27.2	22.4	8.7	3.7				0.0	1.2
貴教育委員会	40.4	27.0	21.6	7.9	3.2				0.0	0.0

→小学校においては「わからないことなどを質問しやすい雰囲気での授業が行われたこと」が「よくあった」と回答した児童が県と比べて低い数値であった。わからない問題をそのままにせず、質問を受け入れる声掛けや雰囲気づくりが必要となる。その反面、中学校においては、肯定的な回答をしている生徒が多かった。【支持的風土の醸成、言語活動の充実】

【小4】

質問番号	質問事項									
(51)	課題の解決に向けて、話し合ったり交流したりしたことで、自分の考えをしっかりとるようになったこと									
選択肢	1. よくあった 2. ときどきあった 3. どちらともいえない 4. あまりなかった 5. ほとんど、または全くなかった									
	1	2	3	4	5	6	7	8	不明	無回答
埼玉県	46.2	31.4	13.5	4.8	2.7				0.2	1.1
貴教育委員会	41.3	32.5	16.8	5.5	2.7				0.2	0.9

【小5】

選択肢	1. よくあった 2. ときどきあった 3. どちらともいえない 4. あまりなかった 5. ほとんど、または全くなかった									
	1	2	3	4	5	6	7	8	不明	無回答
埼玉県	44.8	32.2	15.1	4.7	2.5				0.1	0.6
貴教育委員会	41.4	31.7	19.1	4.2	3.2				0.0	0.4

【小6】

選択肢	1. よくあった 2. ときどきあった 3. どちらともいえない 4. あまりなかった 5. ほとんど、または全くなかった									
	1	2	3	4	5	6	7	8	不明	無回答
埼玉県	42.4	33.2	15.8	5.2	3.0				0.1	0.3
貴教育委員会	36.8	34.1	19.4	6.0	3.7				0.0	0.0

【中1】

選択肢	1. よくあった 2. ときどきあった 3. どちらともいえない 4. あまりなかった 5. ほとんど、または全くなかった									
	1	2	3	4	5	6	7	8	不明	無回答
埼玉県	47.9	33.8	12.5	3.6	1.7				0.0	0.4
貴教育委員会	44.3	34.3	14.2	5.4	1.5				0.0	0.4

【中2】

選択肢	1. よくあった 2. ときどきあった 3. どちらともいえない 4. あまりなかった 5. ほとんど、または全くなかった									
	1	2	3	4	5	6	7	8	不明	無回答
埼玉県	40.1	33.7	16.3	6.3	3.3				0.0	0.3
貴教育委員会	41.2	31.8	19.0	4.7	3.3				0.0	0.0

【中3】

選択肢	1. よくあった 2. ときどきあった 3. どちらともいえない 4. あまりなかった 5. ほとんど、または全くなかった									
	1	2	3	4	5	6	7	8	不明	無回答
埼玉県	44.4	35.6	13.6	4.0	2.1				0.0	0.4
貴教育委員会	41.2	37.4	15.8	4.2	1.4				0.0	0.0

→授業中の話し合い活動の回数も県に比べて低くなっているが、話し合いを通して自分の考えをしっかりともつということに課題が見られた。話し合いの意図を明確にするとともに話し合いをした後に自身の考えに振り返る授業展開が必要となる。 【協働的な学びの場の充実、振り返り活動の充実】

学力向上に向けた手立て

【国語】

- ・読解力の文章を読み取る力の育成を図るために、新聞社が提供しているワークシートを全小・中学校に導入し、活用する。
- ・「未来へつながる学びを支援する訪問」として、小、中学校の国語担当者を中心とした指導案検討会と授業研究会を実施し、読む力の育成に向けた授業改善を図る。
- ・図書活動推進教員を配置し、図書室等の環境を整備したり、本の紹介をしたりすることを通して、活字に触れる機会を増やす。

【算数・数学】

- ・基礎的なドリル学習だけでなく、他者と話し合いながら課題を解決する対話的な学びの視点で授業改善を図る。
- ・問題に粘り強く取り組む態度を育むため、自力解決や適用問題の時間を十分に確保し、問題を解く喜びを経験させる。

【英語】

- ・デジタル教科書を活用し、英語を聞く、話す機会を増やす。
- ・ALT を活用し、自分の考えを実際に話す機会を増やす。

→各教科において協働的な学びを意識した授業改善が重要となるため、授業力向上研修や支援担当訪問等を活用し、個別最適な学びと協働的な学びの一体化を視点とした授業改善に向けた指導を行う。

【その他】

- ・学力向上支援教員を配置し、児童生徒一人一人に応じた指導を行う。
- ・非認知能力育成検証研究として「こころアップタイム」を導入し、児童生徒の非認知能力の育成を図るとともに学力の向上につなげる。
- ・授業支援ソフトの活用について情報提供を行い、協働的な学びに向けた授業改善を行う。
- ・来年度は CBT (Computer Based Testing) となり、一人一台端末を使用しての調査となるため、タブレット端末を授業等で活用しながら、児童生徒に基本的な技能を身につけさせる。